

日工株式会社  
**第148期中間報告書**

平成22年4月1日～平成22年9月30日



# NIKKO GROUP

(平成22年9月30日現在)

## 当社の概況

商号英文名	NIKKO CO.,LTD.
設立年月	大正8年(1919年)8月
資本金	91億97百万円
主要な営業内容	アスファルトプラント、コンクリートプラント、各種IT製品、リサイクルプラント等環境関連製品、各種コンベヤ等の製造・販売
従業員数	529名(グループ合計 793名)
インターネットホームページ	<a href="http://www.nikko-net.co.jp">http://www.nikko-net.co.jp</a>

## 連結子会社

会社名	主な事業内容
日工電子工業株式会社	電子機器の製造・販売
日エマシナリー株式会社	土木建設機械、水門の製造・販売
トンボ工業株式会社	ショベル等土農工具類、ミキサの製造・販売
日エセック株式会社	仮設機材類の製造・販売・レンタル
日エダイヤクリート株式会社	コンクリートポンプ等建設機械類の製造・販売
日工興産株式会社	損害保険代理店業、不動産の仲介・売買、住宅等リフォーム
株式会社前川工業所	破砕機の製造・販売
日工(上海)工程機械有限公司	アスファルトプラント等建設機械類の製造・販売
ニッコーパーマシーネン有限公司	建設機械類の輸出入、建設機械類に関する市場調査

## 当社グループの経営戦略の骨子



## 基本方針

売上と利益のバランスがとれたグループ経営

### 1. 成長性の創造

- グローバル化の強化  
国内No.1の実績・当社のブランド価値を生かし海外でのリーディングカンパニーを目指す
- 新規事業の拡大  
当社の『コア技術』を生かした次世代の『柱』となる事業の創出

### 2. 収益性の向上

- メンテナンス事業の強化  
メンテナンス事業の各業務を強化し、利益拡大を目指す
- 新しいモノづくり  
メーカーとして『積極的に新しいモノ作り』に取り組み、サプライヤー事業としてのモノ作りを目指す

## 株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第148期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業及び業績の概況等についてご報告申し上げます。



平成22年12月  
取締役社長  
深津隆彦

「お客様第一主義」の理念のもと、  
お客様と共に発展する  
“ソリューションパートナー”を目指します。

当社グループの事業領域であります建設関連分野は、政策の見直し及び国内景気減速により、引き続き国内の民間設備投資の早期の回復は見込めず、為替及び原材料価格の動向等も不透明性が増しており、大変厳しい経営環境が続くものと予想されます。

しかしながら、国内においては、CO<sub>2</sub>削減及び再資源化需要の高まりにより新たな製品及び事業が期待でき、海外においては、高速鉄道網建設中の中国、自動車需要が増加中のインドを中心にアジア地域において、引き続きインフラ整備の需要が続くものと予想されます。

この様な環境下、遵法精神の徹底、内部統制の強化等を経営の基本に、業績進展を図るため、『海外事業の展開』、『新規事業の開発』を通じた成長基盤の構築と、『メンテナンス事業の強化』、『新たなモノづくりの推進』による収益基盤の強化を事業施策の柱に据え、技術開発及び人材育成の推進、グループ経営の強化等により、成長性の創造と収益性の向上を兼ね備えたメーカーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 当第2四半期累計期間の概況 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

## 事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速や円高の進展を背景とした輸出の弱含みにより、2009年4月から順調に回復を示してきた景気回復の勢いが鈍化しております。

また、当社グループに関係の深い建設関連業界においても、民間設備投資及び公共投資が依然低調に推移する中、コンクリート関連需要が冷え込むなど、引き続き非常に厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループの当第2四半期の業績は、経営の効率化に努めた結果、連結売上高は119億60百万円（前年同期比11.2%増）、損益面では連結営業利益4億63百万円、連結経常利益5億34百万円、連結四半期純利益1億80百万円となりました。

なお、部門別の概況は以下のとおりであります。

## アスファルトプラント関連事業部門

国内市場につきましては、製品販売及びメンテナンス工事がともに堅調に推移したことに加え、高速道路工事前プラントの販売が伸長し、売上高は前年同期に比べ増加となりました。

一方、海外市場につきましては、円高の影響により日本からのプラント輸出が減少したものの、中国現地子会社の製品販売が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ大幅な増加となりました。

この結果、アスファルトプラント関連事業部門の売上高は72億67百万円となりました。

## コンクリートプラント関連事業部門

コンクリートプラントにつきましては、建設工事の減少に加え、政権交代に伴う公共工事予算の凍結及び削減等が大きく影響しましたことから、製品及びメンテナンス工事がともに減少し、売上高は前年同期に比べ減少となりました。

コンクリートポンプにつきましても、同様に建設工事の減少が続き、製品販売は若干回復したものの、稼働率の低下による消耗部品等の需要が減少し、売上高は前年同期に比べ減少となりました。

この結果、コンクリートプラント関連事業部門の売上高は23億67百万円となりました。



極東ロシアで稼働中のアスファルトプラント  
CBD-60ABD



和歌山県で稼働中のバッチャープラント  
DASH-N225

## 環境及び搬送関連事業部門

環境製品につきましては、缶ビン選別機を中心に拡販に努め、また廃石膏処理プラントを販売しましたことから、売上高は前年同期に比べ大幅な増加となりました。

コンベヤ製品につきましては、国内の設備投資の減少が続いており、主力製品である「モジュラーコンベヤ」の販売が減少しましたことから、売上高は前年同期に比べ減少となりました。

この結果、環境及び搬送関連事業部門の売上高は9億3百万円となりました。



中国で稼働中の日工(上海)製  
アスファルトプラント  
NBD-320ABZ

## その他関連事業部門

仮設機材製品につきましては、建設工事等の減少の影響により、製品販売及びレンタル販売がともに減少し、売上高は前年同期に比べ減少となりました。

ショベル等土農工具製品につきましては、国内向ショベルの販売は減少傾向が続いているものの、海外向製品が伸長したことにより、売上高は前年同期に比べ増加となりました。

破碎機事業につきましては、環境リサイクル関連設備需要の増加により、製品販売が回復し、売上高は前年同期に比べ増加となりました。

この結果、その他関連事業部門の売上高は14億22百万円となりました。



茨城県で稼働中のアスファルトプラント  
NAP・EBD1600CBEx  
NRU・ETOP60-50AL

## 通期業績の見通し

当社グループは、新技術・新製品の開発及び人材の育成、グループ経営の強化等の施策を着実に実行し、『海外事業の展開』、『新規事業の開発』を通じた成長基盤の構築と、『メンテナンス事業の強化』、『新たなモノづくりの推進』による収益基盤の強化を行ってまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高240億円、連結営業利益3億円、連結経常利益7億50百万円、連結当期純利益4億円の予定です。

## 第2四半期連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>	<b>34,021,757</b>	<b>負債の部</b>	<b>10,943,189</b>
流動資産	20,079,160	流動負債	8,098,738
現金及び預金	6,109,235	支払手形及び買掛金	2,230,867
受取手形及び売掛金	8,578,326	短期借入金	2,883,744
有価証券	198,598	その他	2,984,125
たな卸資産	4,157,356	固定負債	2,844,451
繰延税金資産	231,584	長期借入金	138,010
その他	823,132	退職給付引当金	2,076,994
貸倒引当金	△ 19,073	その他	629,447
固定資産	13,942,597	<b>純資産の部</b>	<b>23,078,567</b>
有形固定資産	3,882,326	株主資本	23,178,796
建物及び構築物	1,557,604	資本金	9,197,607
機械装置及び運搬具	605,882	資本剰余金	7,808,463
土地	1,381,847	利益剰余金	6,239,525
その他	336,991	自己株式	△ 66,800
無形固定資産	196,687	評価・換算差額等	△ 100,228
投資その他の資産	9,863,583	その他有価証券評価差額金	53,192
投資有価証券	4,854,856	為替換算調整勘定	△ 153,420
繰延税金資産	1,661,484		
その他	3,542,616		
貸倒引当金	△ 195,374		
<b>資産合計</b>	<b>34,021,757</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,021,757</b>

## 第2四半期連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	11,960,853
売上原価	8,796,022
売上総利益	3,164,830
販売費及び一般管理費	2,700,954
<b>営業利益</b>	<b>463,875</b>
営業外収益	195,752
営業外費用	124,712
<b>経常利益</b>	<b>534,915</b>
特別利益	71,218
特別損失	154,009
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>452,124</b>
法人税、住民税及び事業税	281,504
法人税等調整額	△ 9,589
<b>四半期純利益</b>	<b>180,209</b>

## 第2四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等		少数株主分	純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定		
平成22年3月31日 残高	9,197,607	7,808,463	6,185,234	△ 66,335	188,897	△ 77,260	—	23,236,608
連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 125,918					△ 125,918
四半期純利益			180,209					180,209
自己株式の取得				△ 465				△ 465
株主資本以外の項目の変動額(純額)					△ 135,705	△ 76,160	—	△ 211,865
連結会計期間中の変動額合計	—	—	54,290	△ 465	△ 135,705	△ 76,160	—	△ 158,040
平成22年9月30日 残高	9,197,607	7,808,463	6,239,525	△ 66,800	53,192	△ 153,420	—	23,078,567

## 第2四半期個別貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>	<b>29,176,047</b>	<b>負債の部</b>	<b>7,323,878</b>
流動資産	14,474,634	流動負債	4,934,275
現金及び預金	4,296,515	支払手形及び買掛金	1,910,459
受取手形及び売掛金	7,242,127	短期借入金	1,054,660
有価証券	198,598	その他	1,969,155
たな卸資産	2,166,671	固定負債	2,389,603
その他	582,309	長期借入金	138,010
貸倒引当金	△ 11,587	退職給付引当金	1,977,974
固定資産	14,701,413	その他	273,619
有形固定資産	2,476,313	<b>純資産の部</b>	<b>21,852,168</b>
建物及び構築物	1,083,563	株主資本	21,798,799
機械装置及び運搬具	415,393	資本金	9,197,607
土地	883,539	資本剰余金	7,808,463
その他	93,817	利益剰余金	4,859,528
無形固定資産	164,455	利益準備金	849,758
投資その他の資産	12,060,644	その他利益剰余金	4,009,770
投資有価証券	4,850,640	任意積立金	3,627,800
その他	8,410,378	繰越利益剰余金	381,970
貸倒引当金	△ 1,200,374	自己株式	△ 66,800
資産合計	29,176,047	評価・換算差額等	53,368
		その他有価証券評価差額金	53,368
		負債・純資産合計	29,176,047

## 第2四半期個別損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	9,862,854
売上原価	7,496,624
売上総利益	2,366,229
販売費及び一般管理費	1,951,111
営業利益	415,118
営業外収益	199,907
営業外費用	102,131
経常利益	512,894
特別利益	71,218
特別損失	154,009
税引前四半期純利益	430,103
法人税、住民税及び事業税	217,453
法人税等調整額	9,249
四半期純利益	203,401

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 644,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 181,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 37,537
現金及び現金同等物の増減額	△ 657,825
現金及び現金同等物の期首残高	6,550,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,892,235

## 役員 (平成22年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	深 津 隆 彦
専務取締役	伊 藤 肇
常務取締役	伊 東 兼 一
取締役	西 川 貴 久
取締役	辻 勝 之
取締役	桜 井 裕 之
常勤監査役	秦 勉
常勤監査役	磯 部 巧
社外監査役	安 田 宜 行
社外監査役	尾 坂 雅 弘
社外監査役	永 原 憲 章

# 株 主 メ モ

決 算 期 3月31日  
定時株主総会 6月中  
基 準 日  
定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

公 告 方 法 電子公告  
公告掲載インターネットアドレス：<http://www.nikko-net.co.jp/denshikoukoku/>

上場証券取引所 東京証券取引所 (第一部)  
大阪証券取引所

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
及び特別口座の口座管理機関

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)  
インターネットホームページ<http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 日工株式会社

〒674-8585 兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の1 ☎(078)947-3131(代)

### 日工株式会社

■本社及び本社工場	明石市大久保町江井島1013番地の1	〒674-8585 ☎(078)947-3131(代)
■東京本社	東京都千代田区岩本町2丁目11番2号 イトーピア岩本町二丁目ビル3F	〒101-0032 ☎(03)5823-8101(代)
■大阪支社	大阪市東淀川区東中島1丁目19番4号 新大阪東口ビル	〒533-0033 ☎(06)6323-0561(代)
■北海道支店	札幌市北区北7条西1丁目1番地2 SE山京ビル12F	〒060-0807 ☎(011)737-2207(代)
■東北支店	仙台市青葉区五橋1丁目7番15号 ビースビル五橋5F	〒980-0022 ☎(022)266-2601(代)
■北関東支店	高崎市東貝沢町1丁目17番8号	〒370-0041 ☎(027)370-0251(代)
■中部支店	名古屋市名東区上社1丁目1204番地 ロール社東	〒465-0025 ☎(052)776-7101(代)
■中国支店	広島市安佐南区中筋2丁目7番15号 アヴェンセ中筋2F	〒731-0122 ☎(082)830-0777(代)
■九州支店	大野城市筒井1丁目11番28号	〒816-0931 ☎(092)574-6211(代)
■東京メンテナンスサービスセンター	野田市上三ヶ尾259番地	〒278-0013 ☎(04)7122-4611(代)
■カスタマーサポートセンター	明石市大久保町江井島1013番地の1	〒674-8585 ☎(078)947-0302(代)

### 日工グループ

■日工電子工業(株)	長岡京市神足橋本5番地	〒617-0833 ☎(075)954-5101(代)
■日工マシナリー(株)	野田市上三ヶ尾259番地	〒278-0013 ☎(04)7125-1311(代)
■日工興産(株)	明石市大久保町江井島1013番地の2	〒674-0064 ☎(078)947-5340(代)
■日工セック(株)	野田市上三ヶ尾259番地	〒278-0013 ☎(04)7125-8301(代)
■トンボ工業(株)	明石市硯町3丁目12番51号	〒673-0028 ☎(078)923-6395(代)
■日工ダイヤクリート(株)	下関市長府扇町8番33号	〒752-0927 ☎(0832)49-2650(代)
■株式会社前川工業所	大東市新田中町7番2号	〒574-0056 ☎(072)872-7321(代)
■日工(上海)工程機械有限公司	上海市嘉定区新旬路380号	☎+86-(0)21-6916-9320(代)